

日立市気象年報1978年（1978年3月発行）から抜粋

5. 台風11号による大雨（9月19日～20日）

9月14日、マリアナ附近で発生した台風11号が、北上しながら発達。19日には、大型並みの勢力で、八丈島の南から、夕方には房総の沖約100キロ附近を北々東に進み、夜半には、小名浜沖、20日朝には三陸沖、21日は千島方面へ去った。（図7）

この台風通過に伴って、19日未明から、やや強い雨が降り始め、夜半前には北よりの風と雨が強くなり、20日朝に止んだ。

雨は、県北東部を中心に集中的に降り、（図-8）200ミリ前後の降水を観測した。

この大雨により、特に大北川がはんらんして、北茨城市で1,000戸を越える浸水家屋の被害が発生した。

記 録

日雨量(mm)	19日	20日	計	一時間最大降水量
日立	184	2	186	50（19日19時10分～20時10分）
神峰山	181	3	184	46（19日20時～21時）

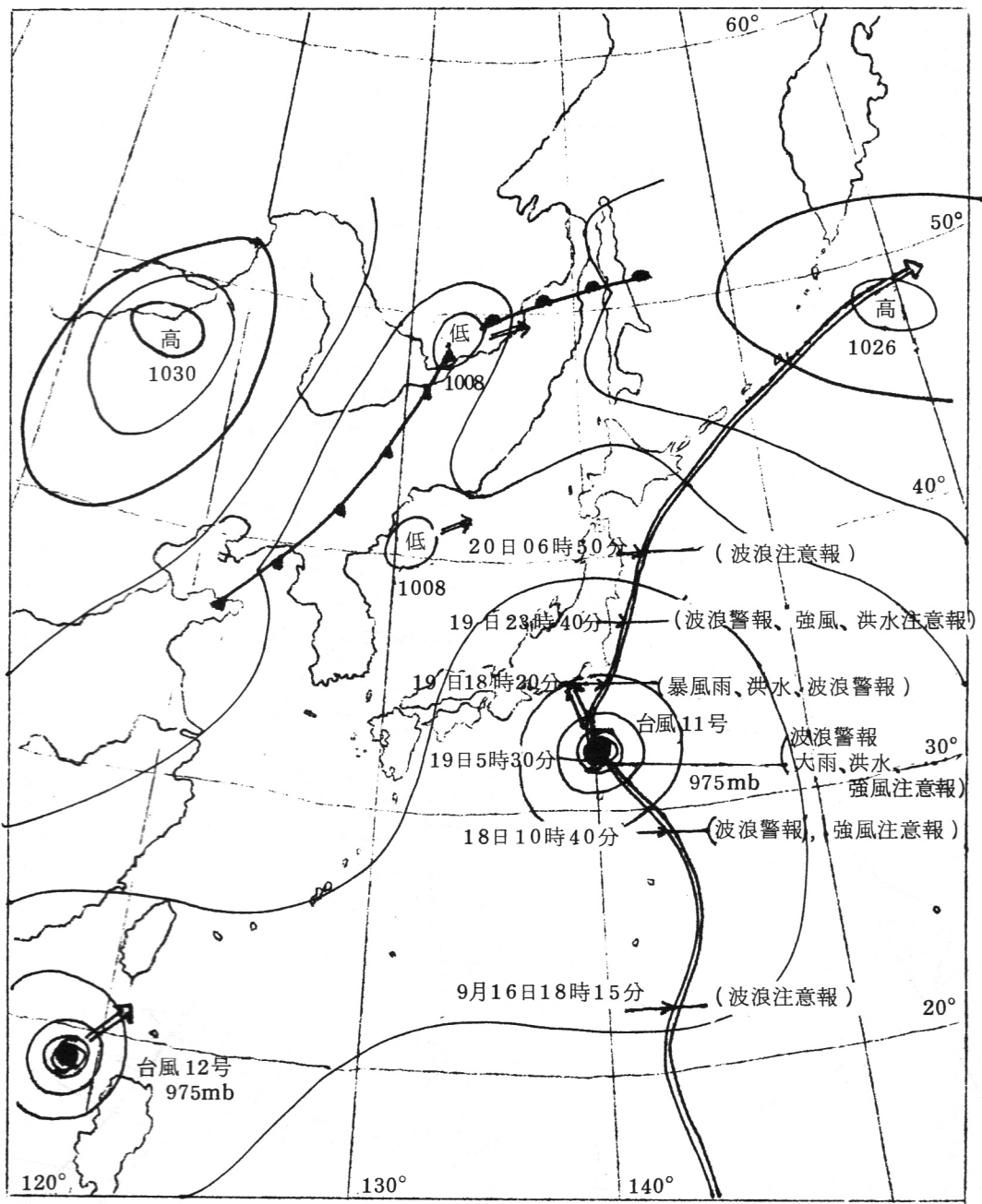
風（日立）

10分間最大風速	北	13.7メートル	19日 20時07分
最大瞬間風速	北々東	25.2メートル	19日 19時46分

被 害

浸 水	床 上	77 戸
	床 下	232 戸
がけくずれ、土砂くずれなど		4 ヶ所
（日本鉱業日立精錬所のカラミ山の流失箇所からブルトナーの転落、1名事故死）		
交 通	常磐線（川尻—高萩間）下り線が、19日夜～21日夜まで不通	

図-7 台風11号の経路と警報、注意報の発表状況



昭和52年9月19日 06時

図-8 台風11号による県内降水量分布図

(昭和52年9月19日～20日の雨量)

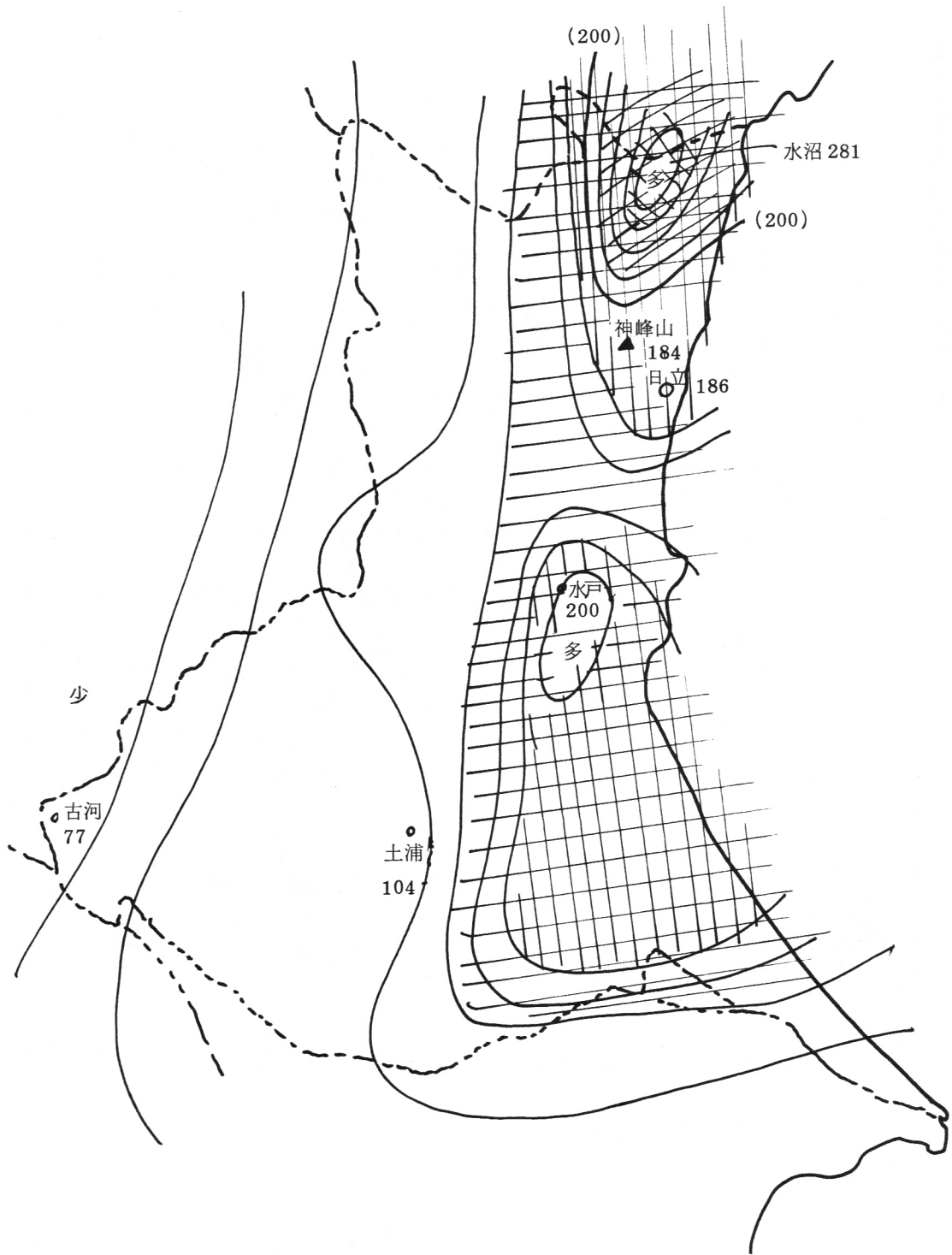


図-9 台風11号による毎時間毎の降水量

